

令和7年度吉川市下水道事業会計予算（案）概要

1 業務の予定量

区 分	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
水洗化世帯数(世帯)	26,157	25,981	25,805	25,570	25,184
年間総排水量(m ³)	6,586,466	6,457,320	5,887,505	6,278,612	6,577,531
1日平均排水量(m ³)	18,045	17,691	16,130	17,202	18,021

※R3～R5年度は決算の数値で、R6年度及びR7年度は当初予算の数値です。

主な建設改良事業

(単位:千円)

区 分	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
管渠事業	316,292	663,926	852,070	311,370	386,600
ポンプ場事業	249,928	197,912	272,118	102,546	143,734

※R3～R5年度は決算の数値で、R6年度及びR7年度は当初予算の数値です。

R7年度の業務予定量は、

- (1) 水洗化世帯数は26,157世帯で、前年度に比べ176世帯(0.68%)の増加を見込んでいます。
- (2) 年間総排水量は、6,586,466 m³で、前年度に比べ129,146 m³(2.00%)の増加を見込んでいます。
- (3) 1日平均配水量は、18,045 m³で、前年度に比べ354 m³(2.00%)の増加を見込んでいます。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業3億1629万2千円で、前年度に比べ3億4763万4千円(△52.36%)減額しています。
また、ポンプ場事業は2億4992万8千円で、前年度に比べ5201万6千円(26.28%)増額しています。

2 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入

(単位:千円)

款	項	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
下水道事業収益		1,646,596	1,574,701	1,577,574	1,543,100	1,524,319
	営業収益	935,530	953,425	933,664	914,671	897,021
	営業外収益	709,391	621,276	643,641	627,067	627,179
	特別利益	1,675	0	269	1,362	119

※R3～R5年度は決算の数値で、R6年度及びR7年度は当初予算の数値です。

下水道事業収益は、前年度に比べ7189万5千円(4.57%)増額となっています。

営業収益・・・前年度に比べ1789万5千円(△1.88%)減額

【下水道使用料】

下水道使用料は、6億7350万8千円を見込んでおり、前年度に比べ1215万9千円(△1.77%)の減額となっています。

【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計及び松伏町が負担するもので、2億5799万1千円を見込んでおり、前年度に比べ674万1千円(△2.55%)減額となっております。

【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている国の水門の点検の経費について国が負担するもので、65万6千円を見込んでおり、前年度と比べ10万5千円(19.06%)増額となっております。

【その他営業収益】

その他営業収益は、手数料及びコピー代のほか一般会計からの負担金など337万5千円を見込んでおり、前年度に比べて90万円(36.36%)の増額となっております。

営業外収益・・・前年度に比べて8811万5千円(14.18%)増額

営業外収益は、7億939万1千円を見込んでおり、前年度に比べて8811万5千円(14.18%)増額となっています。主なものは長期前受金戻入になります。

特別利益・・・前年度に比べて167万5千円(皆増)増額

特別利益は、167万5千円を見込んでおり、前年度に比べて167万5千円(皆増)増額となっております。令和6年度に策定した雨水ポンプ場ストックマネジメント策定業務委託料の松伏町負担分になります。

(2) 収益的支出

(単位：千円)

款	項	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
下水道事業費用		1,597,130	1,512,363	1,398,746	1,372,467	1,363,100
	営業費用	1,516,033	1,430,162	1,321,410	1,292,086	1,275,410
	営業外費用	78,073	79,177	62,146	74,351	73,031
	特別損失	24	24	15,190	6,030	14,659
	予備費	3,000	3,000	0	0	0

※R3～R5年度は決算の数値で、R6年度及びR7年度は当初予算の数値です。

下水道事業費用は、前年度に比べ8466万7千円(5.60%)増額となっています。

営業費用

・・・・前年度に比べ 8587 万 1 千円（6.00%）増額

【管渠費】

管渠費は、3566 万 4 千円を見込んでいます。前年度に比べて 39 万 8 千円の減額となっております。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料に 1561 万 9 千円計上しております。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は、9993 万 8 千円を見込んでいます。前年度に比べて 1957 万 3 千円の減額となっております。主なものとして、ポンプ場の施設管理に係る委託料に 6897 万 1 千円を計上しております。

【流域下水道費】

流域下水道費は、2 億 8560 万 1 千円を見込んでいます。前年度に比べて 1228 万 5 千円の増額となっております。主なものとして、汚水の処理場を有する県への負担金が 2 億 8321 万 9 千円となっております。

【受託事業費】

受託事業費は、41 万 3 千円を見込んでいます。前年度に比べて 8 万円の増額となっております。松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

【業務費】

業務費は、6431 万 7 千円を見込んでいます。前年度に比べて 404 万 8 千円の増額となります。主なものとして吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収業務委託料 5738 万 5 千円を計上しております。

【総係費】

総係費は、下水道事業の管理事務を内容としており、5817 万 5 千円を見込んでいます。前年度に比べて 817 万 1 千円の増額となります。主なものとして、下水道事業経営戦略改定業務委託料 1304 万 1 千円、一般会計への負担金 1197 万 6 千円を計上しております。

【減価償却費】

減価償却費は、9 億 6916 万 6 千円を見込んでおります。前年度に比べて 9560 万 7 千円の増額となります。

【資産減耗費】

資産減耗費は、275 万 9 千円を見込んでおります。前年度に比べて 1434 万 9 千円の減額となります。内容としては、汚水マンホールポンプの更新に伴う資産除却分となります。

営業外費用・・・前年度に比べ110万4千円(△1.39%)減額

営業外費用は、7807万3千円を見込んでおります。内容としては、支払利息及び企業債取扱諸費並びに納付する消費税及び地方消費税です。前年度に比べ110万4千円(△1.39%)減額となっています。

3 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位：千円)

款	項	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
資本的収入		741,682	1,077,116	949,506	667,140	790,510
	企業債	581,200	732,200	655,900	444,200	484,000
	他会計出資金	54,138	63,125	71,525	77,419	81,325
	国庫補助金	80,727	258,000	209,210	130,038	210,794
	負担金	25,617	23,791	12,871	15,480	14,387
	その他資本的収入	0	0	0	3	4

※R3～R5年度は決算の数値で、R6年度及びR7年度は当初予算の数値です。

資本的収入は、7億4168万2千円で、前年度に比べ3億3543万4千円(△31.14%)減額となっています。

企業債・・・前年度に比べ1億5100万円(△20.62%)減額

項目	R7年度	R6年度	増減
企業債	581,200	732,200	△151,000
建設改良費等に充てるための企業債	404,700	560,900	△156,200
流域下水道事業債	56,600	26,300	30,300
資本費平準化債	119,900	145,000	△25,100

※資本費平準化債とは、固定資産の耐用年数と企業債の償還期間の差により生じる資金不足を解消する企業債

他会計出資金・・・前年度に比べ898万7千円(△14.24%)減額

他会計出資金は、5413万8千円で、前年度に比べ898万7千円(△14.24%)減額となっています。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金について計上しています。

国庫補助金・・・前年度に比べ1億7727万3千円(△68.71%)減額

国庫補助金は、8072万7千円を見込んでおります。内容としては、吉川美南駅東口における污水管及び雨水管布設工事において、社会資本整備総合交付金と社会資本整備総合交付金(防災・安全)を活用(補助率1/2)し、污水管渠分として1185万6千円、雨水管渠分として6887万1千円を計上しています。

負担金・・・前年度に比べ 182 万 6 千円（7.68%）増額

負担金は、2561 万 7 千円を見込んでおります。前年度に比べて 182 万 6 千円（7.68%）増額となっています。内容としては資本的支出に係る人件費及び長期前受金として一般会計が負担するものです。

(2) 資本的支出

（単位：千円）

款	項	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度
資本的支出		1,083,885	1,364,794	1,209,974	897,696	1,019,429
	建設改良費	642,032	914,499	766,405	455,166	584,666
	企業債償還金	441,853	450,295	443,568	442,488	434,598
	固定資産購入費	0	0	0	42	165
	（補填額）	342,203	287,678	260,468	230,556	228,919

※R3～R5年度は決算の数値で、R6年度及びR7年度は当初予算の数値です。

資本的支出は、10 億 8388 万 5 千円で、前年度に比べ 2 億 8090 万 9 千円（△20.58%）減額となっています。

建設改良費・・・前年度に比べ 2 億 7246 万 7 千円（△29.79%）減額

建設改良費は、6 億 4203 万 2 千円で、前年度に比べ、2 億 7246 万 7 千円（△29.79%）の減額となっています。

（単位 千円）

項目	R7年度	R6年度	増減
建設改良費	642,032	914,499	△272,467
管渠費	316,292	663,926	△347,634
ポンプ場費	249,928	197,912	52,016
流域下水道費	56,613	26,392	30,221
業務費	19,199	26,269	△7,070

【管渠費】

管渠費は 3 億 1629 万 2 千円を見込んでおり、前年度に比べて 3 億 4763 万 4 千円（△52.36%）の減額となっております。主なものとしては、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業地内における污水管及び雨水管の布設工事となります。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は 2 億 4992 万 8 千円を見込んでおり、前年度に比べて 5201 万 6 千円（26.28%）の増額となっております。主なものとして、共保雨水ポンプ場増強基本設計業務委託、吉川駅南No.1 ポンプ場及びNo.2 ポンプ場他 2 施設の更新工事などがございます。

【流域下水道費】

流域下水道費は 5661 万 3 千円を見込んでおり、前年度に比べて 3022 万 1 千円（114.51%）の増額となっております。内容としては、埼玉県中川流域下水道建設負担金となります。

【業務費】

業務費は 1919 万 9 千円を見込んでおり、前年度に比べて 707 万円（△26.91%）の減額となっております。主なものとしては、宅地開発に伴う下水道取付管の布設工事などがございます。

企業債償還金・・・前年度に比べ 844 万 2 千円（△1.87%）減額

企業債償還金は、4 億 4185 万 3 千円で、前年度に比べ 844 万 2 千円（△1.87%）の減額となっております。（単位 千円）

項目	R7年度	R6年度	増減額
建設改良費に充てる企業債償還金	344,845	358,952	△14,107
流域下水道事業債償還金	45,424	46,846	△1,422
資本平準化債償還金	51,584	44,497	7,087
合計	441,853	450,295	△8,442

【補填財源】・・・前年度に比べ 5452 万 5 千円（18.95%）増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額で、3 億 4220 万 3 千円で、前年度に比べ 5452 万 5 千円（18.95%）増加しています。

この不足額については、当年度分消費税資本的収支調整額 4757 万 3 千円、過年度分損益勘定留保資金 2 億 7236 万 3 千円及び減債積立金 2226 万 7 千円で補填します。

4 予定支出の各項の経費の金額の流用

公営企業運営の円滑化または経済性を十分発揮させるため、各項の間において、流用禁止項目以外のもので、予算執行上必要のある場合は、流用することができる経費を、営業費用、営業外費用、特別損失と定めるものです。

5 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

公営企業は、予算が機動的な経営を拘束することのないように、「目」の予算については、管理者（下水道事業にあっては、管理者の事務を行う市長）において流用することができるものとされています。ただし、職員給与費については、他の費目とは異なり、予算の流用を制限するものです。

6 棚卸資産購入限度額

棚卸資産として、緊急の工事に使用する使用するマンホールの蓋を貯蔵品として保有していますが、年度内に購入する限度額を65万7千円とするものです。

7 主な事業

(1) 清潔で快適な生活環境の確保

★ 水洗化率の向上

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、広報誌への記事の掲載、水洗便所改造資金の融資、水洗化促進通知を実施しています。

区 分	R6 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度	R2 年度
水 洗 化 率 (%)	97.2	97.1	97.1	96.9	96.5

※各年度末の数値。R6年度については、R6年9月末現在

(2) 効率的な施設整備

★ 管渠建設改良事業

吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事など

- ・ 工事設計業務委託（汚水・雨水）
- ・ 管渠布設工事費（汚水）：378m
- ・ 管渠布設工事費（雨水）：550m

★ ポンプ場設備更新事業

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、施設更新事業を実施します。

- ・ 吉川中央第一調整池排水機場外 1 施設整備更新詳細設計業務委託
- ・ 共保雨水ポンプ場増強基本設計業務委託
- ・ 雨水ポンプ場照明器具 LED 化工事
- ・ 美南1・2丁目調整池No.3 ポンプ修繕
- ・ 吉川駅南No.1 排水機場制御盤更新工事
- ・ 吉川駅南No.2 排水機場制御盤更新工事
- ・ 高久雨水ポンプ場流入水量計更新工事
- ・ 共保雨水ポンプ場流入水量計更新工事

★設備の適正な維持管理

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施します。

- ・ 管渠内清掃業務委託
- ・ 管渠内調査業務委託
- ・ 突発的なマンホール修繕など

(3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道を目指すためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

★事務の効率化

データの正確性、事務の効率化を推進していきます。

○下水道事業経営戦略改定業務委託

- ・下水道事業の経営戦略を改定することにより、将来にわたり安定的に下水道事業を運営させてまいります。

○下水道使用料徴収事務委託

- ・下水道使用料の徴収事務を民間事業者へ委託することにより、事務の効率化及び収納率の向上を図ります。

○下水道台帳整備委託料及び資産管理台帳システム保守業務委託料

- ・下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行います。